

大分地域留学生交流推進会議

事業名	国際理解ネットワーク促進事業			
実施期間	国際理解ネットワーク促進事業: H24.11.24, 企業と留学生の交流フェア: H24.12.8, 企業見学会: H24.8.27・H24.10.10・H24.10.24・H24.11.7			
場所	国際理解ネットワーク促進事業: 大分市コンパルホール・トキハ会館, 企業と留学生の交流フェア: レンブラントホテル大分, 企業見学会: (株)大川金型設計事務所・(株)三和酒類・(株)ジェイテデバイス・(株)大分銀行			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	348名	130名	45名	523名

<実施内容>

大分地域留学生交流推進会議と特定非営利活動法人大学コンソーシアムおおいたが共催し、国際理解ネットワーク促進事業及び企業と留学生の交流フェアを実施するとともに就職勉強会並びに4回にわたり企業見学会を実施した。また、関係機関が留学生の地域定着支援に関するネットワークの輪を形成するため、留学生関連事業企画推進ワーキング等を実施しました。



国際理解ネットワーク促進事業終了後の記念撮影

国際理解ネットワーク促進事業は、11月24日(土)大分市のコンパルホールにおいて開催し、第1部の留学生による日本語スピーチコンテストでは、大分地域の大学等に在籍する留学生が日本語でスピーチを行い、審査・表彰を行いました。各大学等をはじめ、自治体や地元メディアの協力により毎年開催され今回で24回目を迎える歴史ある大会です。当日は、大学・短期大学・高専に在籍する8名の留学生が1人5分で発表を行い、日本語力、内容、表現、独創、態度の5つの審査項目により審査し、日本文理大学の高 多慧さんが最優秀賞に選ばれました。第2部の留学生による地域提言シンポジウムでは、4名の留学生が「一緒に考えよう、“住んでよし、訪れてよし”の大分」をテーマに地域に対する提言を行った後、会場内との意見交換を行いました。事業終了後、来賓・留学生・日本人学生・大学関係者を交えて交流会を開催し、留学生交流についての理解と認識をより一層深めました。企業と留学生の交流フェアは、12月8日(土)大分市のレンブラントホテル大分において開催し、有識者等による講演、事例報告及び企業と連携したブースセッションを行い、企業と留学生の相互理解や交流機会を創出しました。企業見学会は、8月27日・10月10日・10月24日・11月7日の計4回実施し、留学生が県内企業を知り、就職先として県内企業を視野に入れて今後の就職活動ができるよう、各社の協力を得て実施しました。

<参加者からのコメント>

洪 鉉さん(韓国)/HONG HYUN

初めてシンポジウム出る事になって本当に緊張しました。
“僕が皆の前で発表できるかな、まだ日本語下手なのにむしろ大学に迷惑をかけてしまうじゃないかな...”とったり色々悩んでたんですけどこれがあと自分にとっても役に立つ二度とない機会だともって頑張りました。準備する期間に何回集めて意見を交換したり先生や関係者方が色々手伝ってくれて本当に感謝しました。また、これをしながら大分に興味や関心が高めになったし他の大学の学生や先生と交流ができてもっと大分が好きになりました。もしこのような機械があれば悩まず参加してください。その経験は皆に役に立つし良い思い出でも作られると思います。

When I first participated in the symposium, I was so nervous and my heart pounded.

I thought "I can't speak Japanese fluently, not good at grammar and I don't want to be a disgrace for Oita University." but also that was so good chance for me.

So, I decided to participate in the symposium. when I prepared that I met a lot of problems but the professor and participant gave me a hand. so I wasn't worried about what I will do. so I really appreciated that. I prepared the symposium, I was able to gain invaluable experience and got along with others university's students. so that is helped to me that I am more interested in Oita than before. If you waver between participating the symposium or not. Don't hesitate just do that.

I am sure that it will be good for you.

高 多慧さん(韓国)/GO DA HYE

今年3年生である私は、来年からの就職活動を控えて、留学生活で記憶に残るような大きい経験と思い出を作りたいと思って、日本語スピーチ大会に参加することにしました。

もちろん、いい思い出になっただけでなく、スピーチの準備・練習を通じて、日本語の実力を向上させるとともに、人前で話す自信もつき、自分自身を成長させることができました。

もし私が3年間過ごした場所が大分でなかったら、もし私が東京で留学生活を送っていたなら、大分弁という内容のスピーチはありえなかったでしょう。大分で出会った友達、知り合いのみんなに、何よりも感謝しています。

私は来年から就職活動を始めますが、九州での就職を希望しています。人と交わるのが好きな私はアクティブな仕事がやりたいです。日本で社会人としていろいろな経験と知識を積みたいと思います。

これからも日本の生活を楽しみながら頑張ろうと思います。

I decided to participate in a Japanese speech contest this year because I am a third year student and want to have a memorable experience while studying abroad before starting my job hunting. Through my preparations for this speech contest, I was also able to improve my Japanese ability, and gain confidence in public speaking. It was thanks to my experiences studying abroad for three years in Oita, that I was able to do a speech in the local dialect. I would sincerely like to thank all the people I have met in Oita over the past several years for giving me the inspiration for my speech. It's because of the warmth of these people that I have decided to look for jobs here in Kyushu. Since I like people, I would like to take a job in which I interact with people. By getting the job in Japan, I'll be able to gain a wide variety of experience and knowledge as a member of society. Thanks to these experiences, I look forward to many more enjoyable days here in Oita, and in Japan as a whole.